

平成28年度

ツキノワグマ管理事業実績報告書(市町村分)

ツキノワグマ

白石市	1
蔵王町	2
七ヶ宿町	3
川崎町	4
仙台市	5
大和町	7
大衡村	8
大崎市	9
色麻町	10
加美町	11
栗原市	12

平成29年8月

宮城県環境生活部自然保護課

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

白石市

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 1.62 ha (H27実績) 1.80 ha</p> <p>(2) 金額 712 千円 (H27実績) 791 千円</p> <p>(3) 作物 飼料作物等</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 4.50 ha</p> <p>(2) 金額 2,027 千円</p> <p>(3) 作物 青刈リトウモロコシ、牧草</p> <p>(4) その他</p>	<p>被害面積、被害金額ともに増加した。昨年は山中の柿等が不作であったため、クマの目撃報告自体が多く、農地に現れる熊も多かったのではないかと思われる。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵・防護柵の設置に対する補助を継続して行う。 ・未収穫の作物を適正処理するよう農家へ指導を行う。 ・目撃情報を地域に周知し注意・啓発を図る。 ・有害個体の捕獲及び放獣。 	<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵・防護柵の設置に対する補助を継続して行った。 ・回覧等で未収穫の作物を適正処理するよう農家へ指導を行った。 ・看板やチラシで目撃情報を地域に周知し注意・啓発を図った。 ・4頭の捕獲を行った。 <p>捕獲実績 4 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 0 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 0 頭 人的被害防止目的 4 頭</p>	<p>電気柵の設置状況については、農家が季節によって設置場所を移動している場合等も多く、正確な状況の把握は出来ない。</p> <p>飼料用トウモロコシの畑については、電気柵は概ね普及し、効果がある状況だが、電気柵の下に穴を掘って侵入するクマなどもいるため、そのようなクマについては有害捕獲等での対処をしていきたい。</p> <p>畜舎の配合飼料等を狙う個体も多く、畜産農家への対策指導等を引き続き行っていきたい。</p>
<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青刈リトウモロコシの被害削減のため畑周辺の除草作業をする。 ・山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。 	<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青刈リトウモロコシの被害削減のため畑周辺の除草作業を推進した。 ・山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進した。 	
<p>4 その他</p>	<p>4 その他</p>	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

蔵王町

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 4.50 ha (H27実績) 1.61 ha</p> <p>(2) 金額 2,068 千円 (H27実績) 687 千円</p> <p>(3) 作物 デントコーン</p> <p>(4) その他 人的被害ゼロ</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 7.70 ha</p> <p>(2) 金額 3165 千円</p> <p>(3) 作物 果樹、飼料作物、野菜</p> <p>(4) その他 人的被害ゼロ</p>	<p>近年、有害鳥獣の個体数が急増しているが、ツキノワグマにおいても目撃情報及び被害報告が例年になく多く寄せられたため、個体数が増加傾向にあるものと考えられる。それに加え、山の実りが悪かったこともあり、飼料作物への被害が大幅に増加した。結果、被害面積は目標値の約1.7倍、被害金額は目標値の約1.5倍と目標値を上回る結果となった。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。 人身被害の未然防止のため、又は被害対策防除措置を講じても農林業非該当防ぎきれない場合に捕獲を実施する。 有害鳥獣駆逐用火火による被害防除を実施。 	<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助が農家に広く浸透し、設置や補助に対する問い合わせが以前より増加した。 目撃や被害報告があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜をなくすことを指導した。 目撃や被害報告があった場所では有害鳥獣駆逐用火火による被害防除を実施し、目撃や被害報告があった農家へは有害鳥獣駆逐用火火による被害防除を指導した。 <p>捕獲実績 33 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 19 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 14 頭 人的被害防止目的 19 頭</p>	<p>電気柵の設置状況について、農作物被害の報告があった農地の30%～40%程度が設置できているものと推察しているが完全に把握できていない。飼料作物畑周囲への設置状況は高く、効果はあるとの報告を受けている。侵入防止対策の強化等を指導しているが、電気柵下部を掘り起こして柵の内部へ侵入するケースも報告されているため、新たな改善策の検討が必要。</p>
<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。 	<p>3 生息環境管理</p> <p>目撃や被害報告があった農家や住民へ耕作地又は宅地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地又は宅地へ出没し難い環境づくりに努めた。</p>	<p>山の実りが悪かったこともあり、人気の少ない山林付近の農地への出没を防ぐことは難しい状況ではあったが、宅地への出没を減少させる効果はあった。</p>
<p>4 その他</p>	<p>4 その他</p>	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.10 ha (H27実績) - ha</p> <p>(2) 金額 350 千円 (H27実績) - 千円</p> <p>(3) 作物 果樹及びスイートコーン</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.00 ha</p> <p>(2) 金額 0 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>被害無し。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵の設置の推奨 ・電気柵講習会の開催 	<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵の設置を推進し、実績では被害無しとなった。 ・有害鳥獣の電気柵講習会と併せ、周知を図った。 <p>捕獲実績 3 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 0 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 0 頭 人的被害防止目的 3 頭</p>	<p>・ツキノワグマの出没はあったものの、電気柵等による防除により、被害無しとなった。</p>
<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放棄、取り残し農作物の除去の指導 ・農地周辺の除草作業の実施 ・耕作放棄地の軽減 	<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導は行ってきたが、未収穫野菜等の放置があった。 ・耕作放棄地は例年と変わらない状況だったが、農地周辺及び山林側の除草作業は実施できた。 	<p>・農作物の除去及び農作放棄地軽減の周知を徹底する。</p>
<p>4 その他</p>	<p>4 その他</p>	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

川崎町

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.20 ha (H27実績) 0.05 ha</p> <p>(2) 金額 176 千円 (H27実績) 522 千円</p> <p>(3) 作物 スイートコーン・デントコーン・ 飼料作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 2.20 ha</p> <p>(2) 金額 855 千円</p> <p>(3) 作物 飼料作物・果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>捕獲頭数に関しては過去7年間で最高数となった。他県のクマ被害が連日報道で流れた影響もあり、警察や役場のへの通報が多かった。被害に関しては飼料用のデントコーンが主に被害を受けた。農作物以外ではニジマスの養魚場での被害が多くあり養魚を多数捕食されるなど被害にあった。今後被害対策の強化を図ると共に、人的被害が発生しないよう注意喚起や迅速な対応を行っていく。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵の設置に対する補助を実施 ・目撃情報を広報やメールを使用し周知を図る。 ・追払い花火を提供する。 	<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵の補助の実施 ・広報での注意喚起の実施 ・花火の提供の実施 <p>捕獲実績 13 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 3 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 3 頭 人的被害防止目的 10 頭</p>	<p>電気柵の補助等行ってきたが、間違った設置などしている方が多く見られた。今後更なる電気柵の普及を推進すると共に、適切な使用方法の指導も徹底していく。</p>
<p>3 生息環境管理</p>	<p>3 生息環境管理</p>	
<p>4 その他</p>	<p>4 その他</p>	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

仙台市

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.25 ha (H27実績) 0.00 ha</p> <p>(2) 金額 366 千円 (H27実績) 1 千円</p> <p>(3) 作物 とうもろこし、栗、梨、水稻</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 1.13 ha</p> <p>(2) 金額 1,051 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、栗、柿、りんご、すいか、とうもろこし等</p> <p>(4) その他 人身被害 5件</p>	<p>・面積、金額ともに被害実績が目標を上回った。 H27年度と比べても、大幅に被害増加。 (H27年度被害実績 面積:0.00ha、金額:1千円)</p> <p>H28年度は山の堅果類が不作であったこと、クマの頭数の増加といった理由により、エサを求めて人里に出没するクマが増えたのではないかと考えられる。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 出没情報が寄せられた際には現場調査を行い、被害状況調査結果に基づき、誘引要因物の除去、防護柵の設置等対策に関する助言・指導を通して、被害の低減及び未然防止に努める。</p> <p>(2) 「仙台市メール配信サービス」により、引き続き出没情報を迅速に発信し、注意喚起と情報提供に努めるとともに、地図情報としての提供方法検討する。</p> <p>(3) 出没場所や時間帯により、広報車での巡回に加え、具体的な注意事項を掲載したチラシの配布や注意看板への出没日時の掲出等、注意喚起の強化に努めるとともに、地域関係者を対象に、具体的な対処方法を普及・啓発する場を提供する。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>・出没情報が寄せられた際には現場調査を行い、被害状況調査結果に基づき、誘引要因物の除去、防護柵の設置等対策に関する助言・指導を通して、被害の低減及び未然防止に努めた。</p> <p>・「仙台市メール配信サービス」により、引き続き出没情報を迅速に発信し、注意喚起と情報提供に努めた。 (登録制サービス 104通発信) また、クマの出没情報の提供方法として、H29年度より市民向けの地理情報システム(市民GIS)の運用が決定した。</p> <p>・出没場所や時間帯により、広報車での巡回に加え、具体的な注意事項を掲載したチラシの配布等、注意喚起の強化に努めた。</p> <p>捕獲実績 15 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 2 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 4 頭 人的被害防止目的 11 頭</p>	<p>・電気柵設置助成新規設置2,100m、受益面積102,000㎡(サル・クマ兼用) ※電気柵について、被害報告があった農地に対してどの程度電気柵が設置されていたかというデータは持っていない。</p>
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) ツキノワグマを農地や集落に呼び寄せないために、引き続きモデル事業の実施を通して、柿や栗などの果樹の早期収穫や幹へのトタン巻の普及・啓発を図る。</p> <p>(2) ツキノワグマの生態や被害防除対策等について、必要に応じ、パネル展示や啓発用パンフレットの配布を行う。</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>・地域のイベント会場などで、クマの生息状況や自主防除の必要性及び具体的な対策について説明し、被害を呼び寄せない環境について啓発活動を行った。</p> <p>・地域のイベント会場でツキノワグマの生態や被害防除について、パネル展示を行った。 ・ツキノワグマに関する市民向けの啓発パンフレットを配布した。</p>	

H28計画	H28実績	評 価
<p>4 その他 緊急捕獲を要する状況において速やかな対応ができるよう、関係機関と事前に協議の場を持つ。</p>	<p>4 その他 ・緊急捕獲を要する状況において速やかな対応ができるよう、緊急捕獲権限の移譲の必要性について検討を行った。</p>	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

大和町

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.11 ha (H27実績) 0.07 ha</p> <p>(2) 金額 265 千円 (H27実績) 118.2 千円</p> <p>(3) 作物 水稲, 大麦, 大豆, タケノコ, ジャガイモ, サツマイモ, とうも ろこし, プラム, リンゴ, 栗等</p> <p>(4) その他 ・ 電気柵設置総延長 変更 なし (既設 3,800m) ・ 人身被害ゼロ</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.02 ha</p> <p>(2) 金額 33 千円</p> <p>(3) 作物 果樹、野菜、いも類</p> <p>(4) その他 ・ 人身被害ゼロ</p>	<p>山にエサが少なかったためか、目撃情 報は多かったものの、町で把握した被害 は昨年と同程度であった。防除対策が 徐々に進んでいるものと思われる。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気柵の貸し出しを実施。 ・ 未収穫農作物を適正管理 するよう農家へ指導。 ・ エサとなる作物の栽培計 画の見直しを行う。 ・ 目撃情報を防災無線によ り周知する。 ・ 有害鳥獣捕獲について は、人身被害防止のため、 又は被害防除対策を講じ てもなお、農林業被害等が 防ぎきれない場合に実施 する。 	<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気柵の貸し出しを実施。 ・ 未収穫農作物を適正管理するよう農家へ指 導。 ・ エサとなる作物の管理について指導。 ・ 防災無線により注意喚起を実施。 ・ 有害捕獲11頭。 ・ 錯誤捕獲により1頭緊急捕獲。 <p>捕獲実績 11 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 1 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 10 頭 人的被害防止目的 1 頭</p>	<p>対策が被害の軽減に繋がった。電気柵 設置により、設置農地については被害 がなかった。</p>
<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農作物収穫残渣の除去や 追い払い花火などの導入 により、自衛体制を強化す る。 	<p>3 生息環境管理</p> <p>農作物収穫残渣の除去や追い払い花火など の導入により、自衛体制を強化を促した。</p>	<p>被害軽減に繋がった。</p>
<p>4 その他</p>	<p>4 その他</p>	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

大衡村

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.00 ha (H27実績) 0.00 ha</p> <p>(2) 金額 0 千円 (H27実績) 0 千円</p> <p>(3) 作物 水稻, 野菜, 果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.00 ha</p> <p>(2) 金額 0 千円</p> <p>(3) 作物 水稻, 野菜, 果樹</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 目撃情報が報告された際には村の防災行政無線等で、注意喚起情報を周知徹底する。 	<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 目撃情報が報告された際には村の防災行政無線等で、注意喚起情報を周知徹底した。 <p>捕獲実績 0 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 0 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 0 頭 人的被害防止目的 0 頭</p>	
<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 耕作地周辺及び休耕地について刈り払いを実施する予定。 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。 	<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底した。 	
<p>4 その他</p>	<p>4 その他</p>	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

大崎市

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 1.10 ha (H27実績) 0.11 ha</p> <p>(2) 金額 793 千円 (H27実績) 443 千円</p> <p>(3) 作物 デントコーン、スイートコーン他</p> <p>(4) その他 ・ 電気柵の貸出しを行う。</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 1.30 ha</p> <p>(2) 金額 1,500 千円</p> <p>(3) 作物 飼料作物、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>昨年に比べクマの出没が多く、被害が大幅に増加した。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気柵の貸出しを行う。 ・ 目撃情報のホームページや広報による周知。 ・ 耕作地付近における除草作業を推進し死角の減少を図る。 ・ 被害拡大防止のため目撃地付近へ看板等により注意・啓発を図る。 	<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気柵の貸出し <p>捕獲実績 17 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 1 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 15 頭 人的被害防止目的 2 頭</p>	
<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。 ・ 水稻被害抑制のため休耕地の除草作業の推進する。 	<p>3 生息環境管理</p>	
<p>4 その他</p>	<p>4 その他</p>	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

色麻町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.81 ha (H27実績) 0.9 ha</p> <p>(2) 金額 729 千円 (H27実績) 131 千円</p> <p>(3) 作物 野菜, 飼料作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 2.61 ha</p> <p>(2) 金額 2,294 千円</p> <p>(3) 作物 果樹, 飼料作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>ツキノワグマによる果樹や飼料作物の被害が大幅に増加したため。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布による注意喚起 ・有線放送による注意喚起 	<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布による注意喚起 ・有線放送による注意喚起 ・宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し, 侵入防止策の設置等を行った(主体は色麻町有害鳥獣対策協議会)。 <p>捕獲実績 4 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 0 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 0 頭 人的被害防止目的 4 頭</p>	<p>侵入防止策の設置状況について, 被害報告があった農地では普及していない(0%)。 ※柵の設置効果等があり, 隣接する農地(柵を設置していない農地)に被害が集中したため。</p>
<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有線放送による注意喚起 	<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有線放送による注意喚起 ・地域が主体となり, 定期的に草刈り等を行った。 	
<p>4 その他</p>	<p>4 その他</p>	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 2.70 ha (H27実績) 1 ha</p> <p>(2) 金額 430 千円 (H27実績) 246 千円</p> <p>(3) 作物 デントコーン、果実、野菜等</p> <p>(4) その他 イ 果実、野菜等の未収穫放置の防止 ロ 電気柵設置補助の実施 ハ 人身被害ゼロ</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 4.21 ha</p> <p>(2) 金額 427 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、デントコーン、果実、野菜等</p> <p>(4) その他 ドングリ等が不作(皆無)だったため被害が増加した。</p>	<p>住宅地近くでの目撃情報が前年より大幅に増加した。今後も継続して未収穫農作物の早期収穫や電気柵設置等被害防除対策が必要と考える。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵の設置に対する補助を実施する。</p> <p>(2) 目撃情報を地域に周知し注意・啓発を図る。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>対策内容</p> <p>被害防除機材(電気柵等12件)の導入助成を行った。</p> <p>町のHPに目撃情報を掲載し周知を行った。</p> <p>捕獲実績 9 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 2 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 6 頭 人的被害防止目的 3 頭</p>	
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 耕作放棄地での除草作業を推進する。</p> <p>(2) 果実、野菜等の未収穫放置を防止する。</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>耕作地の適正管理について広報誌に掲載した。</p> <p>未収穫放置防止について広報誌に掲載した。</p>	<p>電気柵等自己防除を行うことにより被害軽減が図れるため継続して実施する。</p> <p>目撃情報を周知することにより事故等を未然に防ぐことができるため継続して実施する。</p>
<p>4 その他</p> <p>(1) 入山時の被害防止について周知する。</p> <p>(2) 町鳥獣被害対策協議会活動の周知をする。</p>	<p>4 その他</p> <p>広報誌に記事を掲載し周知を図った。</p>	<p>高齢者が多く、農地の適正管理が困難な事例も見受けられる。今後、農地の適正管理についても検討していく。</p> <p>人身事故は発生していないため、一定の効果がみられるため今後も情報提供に努める。</p>

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

2

栗原市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 1.27 ha (H27実績) 0.11 ha</p> <p>(2) 金額 933 千円 (H27実績) 377 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、デントコーン、果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.97 ha</p> <p>(2) 金額 933 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、デントコーン、果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>平成27年度より目撃数が5倍に増加し、被害額が増大している。 主な被害としては、デントコーンの食害による被害が目立った。昨年度は、ブナの実が皆無であったことから、秋以降も栗や柿の食害被害が発生した。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 防護柵(電気柵等)設置の補助を行う 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、人身被害又は農林業被害の未然防止のため注意・啓発を図る。 人身被害の未然防止又は被害防除対策を講じても、農林業被害等を防ぎきれない場合は有害個体の捕獲を実施する。 	<p>2 被害防除対策</p> <p>対策内容</p> <p>防護柵(電気柵等)設置の補助を行った</p> <p>目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、人身被害又は農林業被害の未然防止のため注意・啓発を図った。</p> <p>人身被害の未然防止又は被害防除対策を講じても、農林業被害等を防ぎきれない場合は有害個体の捕獲を実施した。</p> <p>捕獲実績 10 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 0 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 9 頭 人的被害防止目的 1 頭</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防護柵等の設置により被害防除が図られた。 情報を関係機関等共有し、また、市民に周知し、注意・啓発を図り、目撃及び被害箇所の現地確認等を実施した 人畜被害拡大防止のため有害捕獲を実施した。
<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 耕作地に接する山林側の除草を実施し、生息域の適正管理に努める。 誘引物となる果樹等の適正処理を市民へ指導する。 	<p>3 生息環境管理</p> <p>耕作地に接する山林側の除草を実施し、生息域の適正管理に努めた。</p> <p>誘引物となる果樹等の適正処理を市民へ指導した。</p>	<p>適時対応していただいた。</p>
<p>4 その他</p>	<p>4 その他</p>	